

令和元年度 高専機構情報担当者研修会 参加報告

技術第2班 一条 洋和

1. はじめに

令和元年度国立高等専門学校機構情報担当者研修会が令和元年 11 月 5 日から 7 日にかけて学術総合センター(東京都千代田区)にて開催された。各高専から合計 142 名の教職員が参加した。

2. 日程

<1 日目>

- 14:00 高専機構における情報化と情報セキュリティ対策について
- 15:30 標的型攻撃事例とインシデント発生時の初動調査

<2 日目>

- 9:30 昨今の学術機関の脅威状況について
- 10:45 高専統一教務・事務システム(AAS)の開発・導入準備状況について
- 12:00 ランチタイムセッション
- 13:30 情報セキュリティインシデントへの対応シミュレーション

<3 日目>

- 9:30 Office365 のサインインに係る多要素認証・多段階認証の導入について

3. 各日程の詳細

● 情報セキュリティの現状

高専機構 CSIRT、情報処理推進機構それぞれの講師から、高専機構を取り巻く情報セキュリティの現状について講演を聴講した。標的型メール訓練の結果報告では、URL をクリックした際の報告率が低いことが示された。すぐやる三箇条の周知を行っていても、情報セキュリティに関する教職員の意識は思うようには向上していないと感じた。

● 高専統一教務・事務システム(AAS)

機構本部が主催する情報戦略に関する情報共有と意見交換会で何度か取り上げられていた、KOREDA を含む高専統一教務・事務システムの準備状況について説明があった。準備を進めていく中で、各高専によって状況が異なることが課題となっているとのことであった。本校では今年度末で教務システムを更新する予定であるが、高専統一システムが進行していることを考慮し、ハードウェアを新調せずに更新を行うこととしている。高専統一システムの準備が予定通りに進行することを願うとともに、本校に導入する際にスムーズに行えるよう支援していきたい。

● 情報セキュリティグループワーク

インシデントへの対応シミュレーションをグループワークで行った。フィッシングメール、メールアカウント乗っ取りといったインシデントが発生した際、どのように情報収集および対応を行って事態の収束をはかるか話し合った。ボードゲームのスタイルをとっており、情報担当者だけでなく多くの教職員がセキュリティ意識向上のために体験してもよい内容であると感じた。

● Office365 の多要素認証

多要素認証の事例について、福島高専、東京高専、鳥羽商船高専それぞれの事例について説明があった。本校でも多要素認証の導入を検討しており、想定されるトラブルとその対応について理解を深めることができた。

4. おわりに

情報担当者として知っておくべき様々な情報を得ることができた。今後ますます IT 活用が進んでいくと考えられるため、情報セキュリティの維持のためにも最新動向に注意を払っていきたい。